

天満屋岡山本店から撮影した岡山市街地(部分)
1945年6月29日から約1ヵ月後 坂本一夫撮影
岡山空襲展示室 所蔵

企画展〈2階展示室〉

戦後80年

吉備路の作家たちが見た戦争

2025.6.22(日) ▶ 9.15(月・祝)

昭和20年8月15日の終戦日から数えて80年を迎える節目の本年、弊館では企画展「戦後80年 —吉備路の作家たちが見た戦争—」を開催いたします。戦争の終結に至るまでの道程で、ある作家は弾圧され、ある作家は戦地へ赴き、ある作家は空襲から逃げまどい、そしてある作家はその命を散らしました。

この動乱の時代を体験した吉備路に縁のある作家たちがその時どのように行動し、どのような作品を生み出したかを著作やゆかりの品を交えてご紹介いたします。



石川達三
(1905~1985) 小説家



里村欣三
(1902~1945) 小説家



高祖 保
(1910~1945) 詩人
画像提供 宮部修



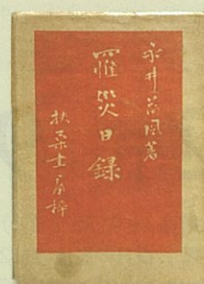
石川達三著『生きてゐる兵隊』
(河出書房、1945)



里村欣三著
『北ボルネオ紀行 河の民』
(有光社、1943)



高祖保著『夜のひきあげ』
(青木書店、1944)



永井荷風著『罹災日録』
(扶桑書房、1947)



内田百閒著『東京焼燼』
(大日本雄辯會講談社、1955)



小手鞠い著
『川滝少年のスケッチブック』
(講談社、2023)

関連イベント

第55回 おはなしのWA♪ 朗読会

「戦後80年 吉備路の作家たちが綴った戦争を読む」

出演：朗読グループ おはなしのWA♪

朗読作品：あさのあつこ『くつの音が』

小手鞠い『川滝少年のスケッチブック』等

日時：令和7年8月2日(土)13:00~14:30

会場：吉備路文学館2階北泉ホール

定員：50名(要予約・先着順)

参加費：入館料でご参加いただけます。

申込方法：お電話(086-223-7411)にて

お申込みください。

*公共交通機関にてお越しください



おはなしのWA♪



写真提供：おはなしのWA♪

吉備路文学館

KIBIJI LITERARY MUSEUM

協力：岡山空襲展示室